

商業施設運営事業の再編に伴う当社と新設連結子会社との会社分割（簡易吸収分割）
および連結子会社の吸収合併（簡易吸収合併）に関するお知らせ

京王電鉄株式会社

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：都村 智史、以下「当社」）は、2023年12月26日開催の取締役会において、当社完全子会社の「株式会社京王S Cクリエイション」（以下、「京王S Cクリエイション」とする。）を設立し、2024年7月1日を効力発生日として、簡易吸収分割の方法により、当社が営む商業施設運営事業（ショッピングセンター事業および不動産賃貸業の一部）を京王S Cクリエイションに承継させることを決議いたしました。また、当社完全子会社の京王地下駐車場株式会社（以下、「京王地下駐車場」とする。）について、すべての事業を吸収分割にて京王S Cクリエイションに移管したのち、当社に吸収合併することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、当社と京王S Cクリエイションとの会社分割および京王地下駐車場との吸収合併（以下、「本再編」とする。）は、効力発生日時点において、連結子会社を対象とする簡易吸収分割および、簡易吸収合併であるため、開示事項および内容を一部省略して開示しております。また、京王S Cクリエイションと京王地下駐車場の吸収分割は金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

記

1. 本再編の目的

商業施設運営事業は、当社グループの理念である「信頼のトップブランド」の確立、および「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」のまちづくりを実現するうえで欠かせない事業であり、これまで当社、京王地下駐車場、京王不動産株式会社（以下、「京王不動産」とする。）の3社で上記の実現に向けて事業を推進してまいりました。一方で、近年、E C市場の拡大に伴う購買行動の変化等により事業環境は急速に変化しており、今後予定されている新宿駅西南口地区開発計画等の大規模開発を見据え、これまで以上にスピード感を持って諸課題に対応し、競争力、収益力の向上に取り組むため、本再編が必要であると判断するに至りました。

具体的には、商業施設運営事業に特化する新会社「京王S Cクリエイション」を設立し、当社S C営業部、京王地下駐車場、京王不動産に分散している商業施設運営事業を集約いたします。これにより、業務効率化を図るとともに、専門的な人材の確保・育成、運営ノウハウの集積の実現を目指してまいります。

また、お客様にとってより魅力的な商業施設を将来にわたって展開していくために、京王百貨店

新宿ビルの建て替えを見据え、2030年頃を目途に京王S Cクリエイションと株式会社京王百貨店の法人格を統合する基本方針も併せて決議いたしております。なお、詳細については未定であり、今後具体的な検討を進めてまいります。これにより、商業施設の一体的運営を通じて、グループ全体のさらなる利益拡大および魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

2. 本再編の要旨

(1) 本再編の日程

ア. 当社 - 京王S Cクリエイションの吸収分割

吸収分割契約の承認（当社）	2023年12月26日
京王S Cクリエイションの設立	2024年4月1日
吸収分割契約の承認（京王S Cクリエイション）	2024年4月下旬（予定）
吸収分割契約の締結	2024年5月7日
分割の効力発生日	2024年7月1日

イ. 当社 - 京王地下駐車場の吸収合併

吸収合併契約の承認（当社）	2023年12月26日
吸収合併契約の承認（京王地下駐車場）	2023年12月下旬（予定）
吸収合併契約の締結	2024年5月7日
合併の効力発生日	2024年7月1日

※京王S Cクリエイションと京王地下駐車場の分割の効力発生日は2024年7月1日を予定しております。

(2) 本再編の方式

ア. 当社を分割会社、京王S Cクリエイションを承継会社とする簡易吸収分割です。

イ. 当社を存続会社、京王地下駐車場を消滅会社とする簡易吸収合併です。

(3) 本再編に係る割当ての内容

株式その他の金銭等の割当ておよび交付は行いません。

(4) 本再編に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本再編により増減する資本金

本再編による当社資本金の増減はありません。

(6) 承継会社および存続会社が承継する権利義務

ア. 京王S Cクリエイションは、2023年12月26日付承認の吸収分割契約に別段の定めがあるものを除き、効力発生日において、当社より商業施設運営事業に関する資産（土地、一部固定資産は除く）、負債および契約上の地位ならびに付随する権利義務の一切を承継いたします。

イ. 当社は、2023年12月26日付承認の吸収合併契約に別段の定めがあるものを除き、効力発生日において、京王地下駐車場より不動産賃貸業に関する資産、負債および契約上の地位ならびに付随する権利義務の一切を承継いたします。

(7) 債務履行の見込み

当社および京王ＳＣクリエイションは、本再編後も資産の額が負債の額を上回ることが見込まれること、現在のところ、本再編後に負担する債務の履行に支障を及ぼす事態の発生は想定されていないことから、本再編後における当社および京王ＳＣクリエイションの債務履行の見込みについては、問題ないと判断しております。

3. 本再編の当事会社の概要

[吸収分割会社・吸収合併存続会社]

(1) 名称	京王電鉄株式会社
(2) 所在地	東京都新宿区新宿三丁目1番24号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 社長執行役員 都村 智史
(4) 事業内容	・鉄道事業 ・土地、建物の賃貸業・販売業 他
(5) 資本金	59,023 百万円
(6) 設立年月日	1948年6月1日
(7) 発行済株式数	128,550,830 株
(8) 決算期	3月31日
(9) 大株主および持株比率 (2023年3月31日現在)	日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口) 14.58% 株式会社日本カストディ銀行(信託口) 5.55% 日本生命保険相互会社 5.03% 太陽生命保険株式会社 4.80% 三井住友信託銀行株式会社 2.99% STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 (常任代理人 株式会社みずほ銀行) 1.80% 株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行退職給付信託口) 1.64% 富国生命保険相互会社 1.57% 第一生命保険株式会社 1.46% JP MORGAN CHASE BANK 385781 (常任代理人 株式会社みずほ銀行) 1.25%
(10) 直前事業年度(2023年3月期)の財政状態および経営成績(連結)	
純資産	351,566 百万円
総資産	955,233 百万円
1株当たり純資産	2,879.29 円
営業収益	347,133 百万円
営業利益	21,479 百万円

経常利益	21,772 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	13,114 百万円
1 株当たり当期純利益	107.40 円

[吸収分割承継会社]

(1) 名称	株式会社京王 S C クリエイション
(2) 所在地	東京都多摩市関戸一丁目 10 番地 1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 古屋 圭子
(4) 事業内容	商業施設運営事業、駐車場の経営および管理業 他
(5) 資本金	200 百万円
(6) 設立年月日	2024 年 4 月 1 日 (予定)
(7) 発行済株式数	4,000 株
(8) 決算期	3 月 31 日
(9) 大株主および持株比率 (2024 年 4 月 1 日時点)	京王電鉄株式会社 100%

※新設会社のため、上記は予定です。

[吸収合併消滅会社]

(1) 名称	京王地下駐車場株式会社
(2) 所在地	東京都新宿区西新宿一丁目 1 番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大里 公二
(4) 事業内容	・駐車場の経営および管理業 ・不動産の賃貸および管理業 他
(5) 資本金	450 百万円
(6) 設立年月日	1972 年 7 月 28 日
(7) 発行済株式数	900,000 株
(8) 決算期	3 月 31 日
(9) 大株主および持株比率 (2023 年 3 月 31 日時点)	京王電鉄株式会社 100%
(10) 直前事業年度 (2023 年 3 月期) の財政状態および経営成績	
純資産	5,935 百万円
総資産	6,660 百万円
1 株当たりの純資産	6,595.06 円
営業収益	1,498 百万円
営業利益	362 百万円
経常利益	373 百万円
当期純利益	256 百万円
1 株当たり当期純利益	285.00 円

※京王地下駐車場のすべての事業を吸収分割にて京王S Cクリエイションに移管したのち、当社は京王地下駐車場を吸収合併いたします。当社-京王地下駐車場の吸収合併により当社が承継する京王地下駐車場の資産及び負債の概算額は以下のとおりです。

資産		負債	
項目	帳簿価格（百万円）	項目	帳簿価格（百万円）
流動資産	5,129	流動負債	70
固定資産	876	固定負債	—
合計	6,005	合計	70

(注) 上記の合併により移管される資産、負債の項目および金額は、2023年3月31日時点の貸借対照表を基礎とし、これに吸収合併効力発生日までの増減を加味したうえで確定するため、実際に承継する金額は上記金額と異なります。

4. 分割する事業の概要（当社 - 京王S Cクリエイションの吸収分割）

(1) 分割する部門の事業内容

商業施設運営事業

(2) 分割する部門の経営成績（2023年3月期）

営業収益 11,600 百万円

(3) 分割する資産、負債の項目および金額（2023年3月31日時点）

資産		負債	
項目	帳簿価格（百万円）	項目	帳簿価格（百万円）
流動資産	3,285	流動負債	2,770
固定資産	4,113	固定負債	4,628
合計	7,399	合計	7,399

(注) 上記の事業における分割する資産、負債の項目および金額は、2023年3月31日時点の貸借対照表を基礎とし、これに吸収分割効力発生日までの増減を加味したうえで確定するため、実際に承継する金額は上記金額と異なります。

5. 本再編後の状況（2024年7月1日（予定））

本再編後の当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期に変更はありません。

6. 今後の見通し

本再編は、当社と当社完全子会社との間で行われるため、連結業績の影響は軽微ですが、中長期的に当社グループの業績向上に資するものです。

以上

(参考)再編スキーム

